

網走西部流域における森林認証の取組み

－ 日本最大の森林認証を活かした地域活性化へ －

網走西部流域では、平成 16 年度から地元市町村と林業・林産業界が一体となって一般民有林の森林認証（SGEC 認証）を順次取得し、適切な森林整備を推進するとともに地域産材のブランド化により地域経済の活性化を図る先駆的な取組みを進めています。

さらに、この地域主導の取組みを支援するため、平成 19 年 12 月に当地域の国有林（網走西部森林管理署及び同西紋別支署管内）と道有林（オホーツク総合振興局西部森林室管内）においても森林認証を取得しました。

平成 30 年 9 月現在、当流域での認証森林面積は合計 324,893ha となり、これは全国の森林認証面積（208.3 万 ha）の約 16%にあたります。（水産林務部森林計画課 HP より）

また、認証材の流通・加工を行う認定事業者の数も多く、流域関係者が一体となって森林認証を活かした取組みを進めています。

※ 網走西部流域：紋別市、遠軽町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町

1 網走西部流域における森林認証の取得状況

■網走西部流域におけるSGEC森林認証面積

平成 22、23 年にオホーツクフォレストネットワークが私有林及び町村有林で一括して認証を取得するとともに、平成 25 年に滝上町森林組合グループが認証を取得したことにより、流域内の認証面積は 324,893ha で、認証森林の割合も 85%に達しています。

（水産林務部森林計画課HPより）

団体名	面積（HA）	団体名	面積（HA）
佐藤木材工業(株)	622	滝上町	2,983
住友林業(株)	15,828	オホーツクフォレストネットワーク	22,268
紋別市	2,260	滝上町森林組合グループ	5,142
北海道森林管理局 網走西部森林管理署 西紋別支署	190,603	日本製紙(株)	5,391
		王子グループ	13,058
		港エーステート(株)	213
道有林 網走西部管理区	66,269	千歳林業(株)	257

（注 四捨五入の関係で、合計面積と一致はしません。）

2 網走西部流域における森林認証の取組み

（1）西部森林室の取組み

■認証森林（道有林）の維持管理

森林認証の取得後、毎年、適切な森林管理が行われているか審査機関から審査を受けています。

森林認証の審査基準の一つとして生物多様性の保全が含まれており、毎年、森林室職員や関係事業者従業員に対する研修を行っています。

また、道有林内に生育する希少生物の調査等も実施しており、キンセイラン、サルメンエビネ、エゾサカネラン等の希少植物が確認されています。

この内、キンセイランの生育林分については平成23年3月に、サルメンエビネについては平成25年3月に、道の「希少野生動植物保全の森」に設定し、保全しています。

■ 認証材の流通促進

○ 認証材の供給

トドマツを主体とした人工林の主伐や間伐など、道有林の整備を通じて生産される木材の全量を認証材として立木販売方式により供給しており、平成28年度の供給量は約6万4千㎡となっています。一部についてはCoC事業体に限った制限付き一般競争入札を実施するなど認証材の流通促進を図っており、平成28年度供給量の100%がCoC事業者の買い受けとなっています。

■ 森林認証の普及啓発

○ 見学会やフォーラムの開催（H21～）

平成21年度から、一般消費者等を対象にSGEC認証森林、認証材加工工場、認証材使用施設などを見学する森林認証体験ツアーを開催し、森林認証への理解を深めるとともに、認証材の消費拡大に向け取り組んでいます。

平成30年度は、次の取り組みを行っています。

月 日	市町村	対象者（人員）	内 容
9月1日	興部町	小中学生を含む 地域住民 (60名)	・森林認証材の展示と森林認証制度のポスター掲示による網走西部流域の森林認証の取り組み等について 
9月27日	興部町	林業事業者役員 ・作業員 (35名)	・網走西部流域の森林認証の取り組み等について 
10月1日 5日	西興部村 興部町 紋別市	林業事業者役員 ・森林所有者 (33名)	・網走西部流域の森林認証の取り組み等について 

(2) 流域関係者による取組み

■一般民有林の認証取得促進

○一般民有林の一括認証取得

〔オホーツクフォレストネットワークとグループ認証〕(H22～)

一般民有林の所有者が一括して認証を取得できるよう、地域の3市町村(興部町・西興部村・雄武町)と2森林組合が「オホーツクフォレストネットワーク」を設立し、さらに滝上町森林組合もグループ認証を取得しました。

このことにより、単独で森林認証を取得している紋別市有林、滝上町有林を含め、平成30年9月末現在で324,893ヘクタールが認証を取得しています。

なお、オホーツクフォレストネットワークの平成30年7月の総会で、新たに遠軽町が加わりました。

■認証材の利用促進

○認証材を使用した牛舎の建築

〔オホーツク総合振興局西部耕地出張所〕

紋別市のオホーツクはまなす農協哺育・育成預託牧場では、管内のカラマツ認証材を使用した育成舎、管理棟など16棟が建築されています。

また、遠軽町等においても民間の酪農家等で2件の牛舎等が建築されています。



オホーツクはまなす農協哺育舎(紋別市)

○認証材を使用した公共施設の建築

〔紋別市、滝上町〕

紋別市や滝上町では、認証材を使用した公共施設の建築が進められています。

- 〔紋別市〕市営住宅大山団地(H21～25)
オホーツク流水公園花のサロン(H22)
医師滞在共同住宅(H22～23)
南が丘児童館(H25)
紋別保育所・紋別児童館(H26)



医師滞在共同住宅(紋別市)

- 〔滝上町〕滝上町こども園、コテージ(H22)
町営住宅新町団地(H22～24)
シカ処理施設、除雪センター(H24)
滝上町小学校屋内体育館(H25)
放課後こども教室(H25)
町営住宅新和団地(H25)
単身者用住宅まちなかハイムⅠ(H26)
児童公園四阿(H26)
町営住宅幸和団地(H26～27)
単身者用住宅モナルダハイツ(H27)



滝上町こども園(滝上町)

参 考

■ 森林認証制度

独立した第三者機関が一定の基準を基に森林を審査し、適切で持続可能な経営が行われている森林であることを認証する制度です。

認証森林から生産される木材・木製品は認証ラベルを付けて販売することができ、環境に配慮した製品であることをアピールし、消費者に選択的な購買を行ってもらうことを通じ、森林の整備を支援することを目指しています。

認証には森林経営そのものに関する森林認証と認証森林から生産された木材（認証材）の流通・加工に関する CoC 認証の2種類があります。

CoC 認証では、認証材がそれ以外の木材と混ざらないように分別することが求められ、流通の過程において認証ラベルを付けることとなります。

■ 森林認証制度の種類

森林認証制度は世界でいくつか種類がありますが、日本で現在、取得されている主な認証制度は SGEC（緑の循環認証会議）と FSC（森林管理協議会）の2つです。

※SGEC（Sustainable Green Ecosystem Council「緑の循環」認証会議）

2003 年に日本で発足（事務局：日本）した認証制度で、人工林の多い日本の森林の特色を踏まえた制度です。

平成 28 年 6 月 3 日の PEFC 総会で PEFC との相互承認が決定されました。

■ SGEC森林認証の認証基準

SGEC 森林認証を取得するためには、次の 7 つの審査基準を満たすことが必要です。

- 1 認証対象森林の明示およびその管理方針の確定
- 2 生物多様性の保全
- 3 土壌および水資源の保全と維持
- 4 森林生態系の生産力および健全性の維持
- 5 持続的森林経営のための法的、制度的枠組み
- 6 社会・経済的便益の維持および増進
- 7 モニタリングと情報公開